

2024.2.15

No.55・56

合併号

富士大学広報誌

FUJI  UNIV.

建学の精神

本学の教育理念は、人類の築き上げつつある学術文化を研究・教授し、深い教養と総合的判断力を具えた豊かな人間性を養うことによって、平和的かつ創造的な文化の向上と活力ある社会の発展に寄与する人材を育成するにある。この理念に基づき、特に地球的・国際的視野の涵養、創造的・実践的知性の開発、自発的・奉仕的精神の体得を目標として、心身ともに健全な学生の育成を期する。

本学のモットー

思索と行動は人生の双つの翼だ



FUJI UNIVERSITY INFORMATION

■ 大学院 / 経済・経営システム研究科 ■ 経済学部 / 経済学科・経営法学科

富士大学

〒025-8501 岩手県花巻市下根子 450-3 TEL0198-23-6221・FAX0198-23-5818



2023年度 第47回総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント 東北勢初の全国制覇!! 念願の初優勝!!

2大会ぶりの出場となった総理大臣杯。当初の目標は2回戦突破。しかし本学サッカー部が6回目の挑戦でつかんだ1回戦初勝利から快進撃が始まります。2回戦は後半わずか8分で3得点を奪い意地の逆転勝利。準々決勝では、雨を味方に強豪に対して粘り延長戦でも決着がつかずPK戦に突入。サドンデスの末に7-6で勝利しベスト4へ進出。続く準決勝では、名門法政大学を相手に、またまた0-2からの大逆転の劇的勝利で東北勢初の決勝進出。決勝では優勝候補でJリーグ内定選手4人を擁する関西学院大学に対し粘り強く戦いました。後半に今大会チーム得点王の寺崎朋範が貴重な2点目をあげ、試合終了のホイッスルが鳴り響き、大歓声の中で総理大臣杯に初優勝、念願の日本一の栄冠を手に入れました。

部長 / 嶋尾 直軌



いつもサッカー部へのご理解とご支援をいただき大変感謝申し上げます。おかげさまで、第47回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントにおいて、念願の初勝利、そして快進撃を重ね衝撃的な初優勝を飾ることができました。

日頃よりスポーツの価値、大学サッカーの価値を高めようと懸命に取り組んできた学生たちの大きな成果かと感じております。勝敗のその先にある、社会とのつながりを大切にしながら今後も取り組んでまいります。

監督 / 高鷹 雅也



今大会を戦うにあたり、地域での戦いのままでは勝ち上がることは難しく、戦略戦術を見直しました。大会序盤は噛み合わない部分もありましたが、勝ち上がるにつれて戦いが浸透し、シンクロしていく姿が見えました。優勝の要因である選手たちの「最後まで諦めない」という姿勢を導いてくれたのは、大学関係者・ご父母・サッカー部員によるものです。また、多くの外部スタッフからサポートいただきましたことに感謝申し上げます。

主将 / 藪中 海皇



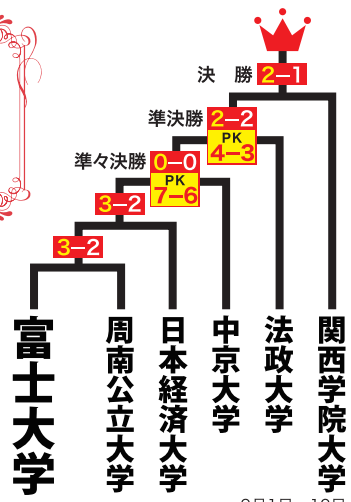
総理大臣杯のチーム目標として、全国2勝以上を掲げて大会に臨みました。そんな中でベスト8、ベスト4と勝ち上がり、試合に出場しているメンバーだけでなく、サブや応援団を含めサッカー部が一つになれたからこそこの日本一だと思っています。支えていただいた皆様へ心より感謝いたします。

受賞しました

令和5年 公益財団法人岩手県体育協会
栄光賞 指導者賞・団体賞
令和5年度 岩手県スポーツ賞
花巻市スポーツ栄光賞
第47回 岩手日日文化賞



11月2日、ホテルグランシェール花巻にて「優勝を祝う会」が開催され、約200名のお客様に祝福いただきました。(写真はサプライズゲストとして駆けつけてくださった松本安太郎さんとメンバー)



理事長就任挨拶

前任の青木繁理事長に代わり、2023年5月28日付で理事長に就任しました龍澤尚孝です。学校法人龍澤学館理事長並びに龍澤学館グループ代表も務めており、学校法人富士大学もグループの一員と位置づけ卓越した教育の提供、地域の発展へ尽力していきたいと思っております。

さて、本学含め全国の私立大学が置かれる環境は一刻一刻と厳しさを増しています。少子化の中、いかに学生を確保し定員を満たすか、また、地域課題解決のため地域と連携し地域になくてはならない存在となるか、地域で活躍できる人材を育成できるか、その取り組みが問われています。本年もスポーツでは輝かしい実績を上げていますが、教育活動、地域連携事業においても成果を上げ評価をいただけるよう邁進していきたいと思っております。本学の活動により一層のご理解とご支援いただけますようお願いいたします。



富士大学理事長
龍澤尚孝

NEWS

2023年度の主なニュースです。
詳細はウェブサイトの新着情報に記載しています。

大学のニュース

- ◆韓国の新羅大学と協定を締結しました
- ◆校友会の支援を受け、《100円カレーWeek》を実施しました
- ◆中国駐札幌総領事館領事が表敬訪問のため来学されました
- ◆JA全農いわて様より今年も食材を提供いただきました



小野寺萌恵さん(中央)

- ◆曲阜師範大学翻訳学院(協定校)の代表団が本学を訪問しました
- ◆パリ2023世界パラ陸上競技選手権大会出場に伴い小野寺萌恵さんが大学を表敬訪問しました
- ◆5月から大学の施設利用や貸出、公開授業における制限がなくなりました
- ◆6号館の外壁塗装工事が完了しました



学生の活動

- ◆4年生の小野寺教通さん、富永実希さんが日本福祉学会東北支部会で学会発表奨励賞を受賞しました
- ◆花巻市立南城小学校対象に「本気先生の熱血授業」を実施しました
- ◆「ネクジェネいわて2023」(主催:岩手県)に出展しました
- ◆岩手県農林水産部 政策提案型調査研究コンテスト「Wild Cup 2023」に出場しました
- ◆大学院2年の黄川田玲さんが大迫町あんどんまつりに際し角あんどんを制作しました
- ◆花巻青年会議所イベント「Stand Up 花巻」にサッカー部員、地域連携推進センター学生委員、遠藤ゼミ生が参加しました
- ◆UNIVAS(大学スポーツ協会)デュアルキャリア教育プログラム「DC ONLINE for TEAM」の研修会を複数回実施しました
- ◆いろいろなボランティア活動を行っています



黄川田玲さん制作のあんどん

留学生の活動

- ◆国際フェア in はなまき 2023に参加しました
- ◆国際交流イベント「2023ワン・ワールド・フェスタinいわて」に参加しました
- ◆中国人留学生が日本語スピーチコンテストに参加しました
- ◆地域の自主防災会訓練に留学生が参加しました

地域経済文化研究所

- ◆釜石市の「みちのく薪びと祭り」に参加しました
- ◆東北環境パートナーシップオフィス(EPO東北)との連携を行いました

教員の活動

- ◆鳴尾直軌准教授が「FIFA/JFA Coach Educators' Development Pathway Programme」に参加し修了しました。
- ◆「森林講演会とシンポジウム」(主催:森林と暮らしを考える花巻市民の会)が開催され岡田学長が講演を行いました
- ◆崔肅京教授担当の「比較文化論」が2024年度ユーラシア財団の講座開設助成の対象となりました
- ◆経済・経営システム研究科の金子賢一教授が日本福祉工学会会長に就任しました
- ◆森林技術10月号に「地域大学をプラットフォームにした地域内エコシステムづくり～富士大学(岩手県花巻市)の取組～」が掲載されました(遠藤教授)
- ◆日本経営倫理実践研究センターのSDGs/CSR研究会にて吉田教授が講演しました
- ◆東日本入会(いりあい)・山村研究会(代表:岡田秀二)の第12回研究大会を岩手県と共催で開催しました
- ◆中村良則副学長が岩手県知事より表彰されました(花巻市国民健康保険運営協議会 公益代表委員)
- ◆花巻市・北上市にて市民セミナーを開催しました
- ◆岩手・木質バイオマス研究会/富士大学共催 第246回「木勉会(木を勉強する会)」が富士大学と銀河の里で開催されました
- ◆日本ソフトテニス連盟が佐々木義孝客員教授へ感謝状を授与しました



イベント

- ◆はなまきベースボールフェスタ事業「ふれあい野球教室」が本学で開催されました(詳細は別記事)
- ◆NHK大学セミナーin富士大学(講師:荒木香織氏)が開催されました
- ◆スポフェスHANAMAKI 2023開催しました(主催:花巻青年会議所)(詳細は別記事)



令和4年度富士大学卒業式・大学院修了式

令和5年3月17日(金)、花巻市文化会館において、令和4年度富士大学卒業式・大学院修了式が執り行われ、学部卒業生・大学院修了生に卒業証書・学位記が授与されました。



卒業生を代表して Sho Maekawa

まえかわ しょう 経済学科 学士(経済学)
前川 翔 岩手：盛岡第四高校卒

この度は素晴らしい卒業式を挙行していただきありがとうございました。

富士大学で過ごした4年間は私の人生の中で最も濃いものであったと感じております。富士大学は、他大学に比べて学生と先生方、職員の方々との距離が近くとても手厚いサポートを受けられたと思います。経済学の専門分野の学習はもちろんのこと、ゼミなどの活動を通じて自らが興味をもったテーマについても学習することが出来ます。特に富士大学は1年からゼミに所属し、学生同士や先生と活発なコミュニケーションをとることができます。

私は教員を目指していたので、できることなら教員採用試験の対策等があればよいと思っていました。富士大学では、佐々木裕教授をはじめ、たくさんの先生方がサポートしてくれます。学び続ける教員養成プログラム(ELL)では、夏季休暇や春季休暇にもかかわらず大学内で個別に論文指導や面接指導、教科の学習指導などをしていただきました。そういったサポートのおかげで充実した学生生活を送ることが出来ました。

最後になりますが、4年間様々な支援をしてくださった先生方、事務職員の皆様、そして近くで応援してくれた家族に心より感謝申し上げます。

令和4年度
学長表彰
受賞者

経済学部

学業成績優秀者

前川	翔
佐々木	めい
伊藤	綾那
立花	千春
田村	柚月
黒澤	啓太
甲斐	美音
了戒	駿斗

卒業論文優秀者

立花	千春
阿部	友希菜
佐間山	魁

課外活動優秀者

金村	尚真
木嶋	瑠菜
佐藤	大雅
志村	澁

大学院修了生を代表して Tomohiko Ito

いとう ともひこ 経済・経営システム研究科
伊藤 智彦 修士(経済学)

税理士試験には、大学院修了過程での研究について国税審議会の認定を受けることで、試験科目の一部を免除する制度があります。富士大学大学院では、この免除制度を利用して税理士を目指す人を積極的に受け入れており、県外から入学する人も少なくありません。私もその一人です。そのため、入学当初から担当指導教員だけでなく、事務職員を含め学内全体から

税理士試験に対するご理解とご協力をいただき、安心して研究活動と税理士試験との両立に取り組みました。

また、富士大学の図書館は、税法関連の資料がとても充実していることに驚かされました。研究過程における参考文献の多くを富士大学の図書館から収集しています。

修了要件となる履修科目は経済学・経営学が中心で、税理士試験の受験科目である会計学・租税法とは直接関わりのない分野ですが、それぞれの専門的な講義内容は非常に興味深く、自身の見識を広め、将来の税理士像をより具体的に描くことに役立ちました。

全体を通して富士大学大学院は、税理士試験を目指す人にとって非常に環境が整った場所であったと感じています。

最後に、論文作成についてご指導をいただきました中江博行先生をはじめ、研究活動に対して様々な支援をいただきました大学院関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



令和5年度入学式が挙行されました

令和5年4月5日(水)、花巻市文化会館にて令和5年度入学式が行われ、経済学部、大学院の入学生と大学関係者らが出席しました。

3年ぶりに文化会館での開催が実現しました。

お忙しい中、ご出席をいただきましたご来賓の皆様、非常勤教員の皆様、ご家族の皆様にご感謝を申し上げます。

岡田学長は式辞で「富士大学への入学を心より歓迎いたします。文明史的転換を迎えたこの時代に、経済学を専門とする富士大学への入学はとても賢明であったと思います。自然も歴史も文化も豊かな花巻での学園生活が素晴らしいものになることを願っております。」と新入生を歓迎しました。

上田東一花巻市長からは、「入学おめでとうございます。花巻市全体が皆さんの学び舎です。皆さんが自らの目標に向けた土台をしっかりと築くことが、未来を切り開くための基礎となります。富士大学の新たな伝統の1ページを作られるよう期待しています。」と、ご祝辞をいただきました。

新入生を代表して、経営法学科の軽石慶春さん(岩手県立北上翔南高等学校出身)が「私たちの高校生活はコロナ禍によって思うような活動を行えず、かけがえのない青春の時間は制限を重ねられるばかりでした。大学生活4年間、新入生一同、個人個人の目標と夢を実現させ、輝かしい未来に向かって成長し続けることを誓います。」と誓詞を述べました。

また、入学式は富士大学史上初、桜の咲く中での開催となりました。



2024年度も

公開授業

を行います

「宮沢賢治から考える」前期

花巻の生んだ宮沢賢治は、多彩な観点から国内外で広く研究がなされており、毎回様々なテーマで賢治をひもとくオムニバス形式の授業となっています。

ブラックホールの権威 本間希樹所長

が講義を行いました(2023.6.19)

2019年4月、ブラックホールの姿が撮影されたというニュースが流れたのを覚えていますか？
前期公開授業「宮沢賢治から考える」の第11回(6/19)は、そのプロジェクトの日本チーム代表を務めた、国立天文台水沢VLBI観測所の本間希樹所長による「ブラックホールへ「銀河鉄道の旅」」のタイトルで開講されました。

本間所長はまず、岩手の偉人や、水沢(奥州市)の観測所を紹介し、星が出す電波を観測して天の川を調べていることなどを紹介しました。日本各地・世界各地の観測所のデータを用いることによって大きい望遠鏡になり、はるか遠くまで観測することができるそうです。

それから、賢治とのつながりとして、賢治が水沢の緯度観測所を複数回訪れ作品にも登場させていること、銀河鉄道の夜のモデルになったと言われる岩手軽便鉄道と鉄産業とのつながり、鉄と宇宙の関係を述べた後、授業の後半部分はブラックホールについて解説していただきました。

学生たちは、普段聞くことのできない天文学の講義に、熱心に聞き入っていました。



最終日はシンポジウムを行います。

地域創生論 前期

「地域創生論(担当:岡田秀二学長)」では毎回、自治体の首長さん、企業経営者、研究者など、地域創生に係る政治・経済・社会・メディア等各界の第一線で活躍されている人物を講師として招き、その現実とこれからについて考えます。

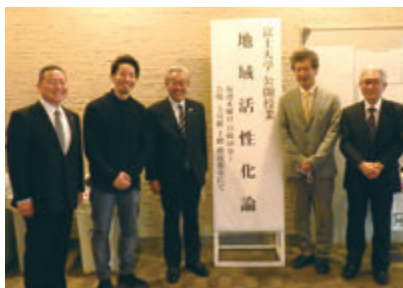


地域活性化論 後期

花巻市との相互友好協力協定に基づく花巻市との連携公開講座「地域活性化論」を今年も引き続き開講します。本学教員、花巻市役所職員、民間事業者など、毎回講師が変わるオムニバス形式で行います。花巻市内および近隣での地域活性化に取り組んでいる講師からその事例を紹介していただき、取組や知識、スキル、ノウハウ等を学修します。

観光産業論 後期

地方経済にとって観光産業は、経済面ばかりではなく地域活性化という観点からも非常に重要です。観光産業の特性とその産業構造を理解し、旅行者、宿泊業、飲食サービス、インフラ、政策など多方面から観光関連産業にアプローチしていきます。



地域連携推進センター 学生委員の活動が始まりました

地域連携推進センター学生委員の活動が2023年から始動しました。現在は12名の学生委員が、地域連携関連イベント及び地域の課題解決のためのワークショップ等へ参加し、多岐にわたり活動を行っています。



いわてカーボンフリー・アクション(ICFA)に 地域連携推進センター 学生委員が参加 しています

令和5年度脱炭素化広報事業により、富士大学、岩手大学、岩手県立大学の学生団体が、環境保全やSDGsに関する活動に取り組んでいる学生プロジェクトチームです。Z世代へ向けた、簡単に実践できる"脱炭素につながるライフスタイル"を題材にしたショート動画を企画・撮影・作成し、SNSアカウントで発信しています。



本学卒業生の 埼玉西武ライオンズ選手と 花巻市の小中学生が交流しました

2023年12月10日(日)、はなまきベースボールフェスタ事業「ふれあい野球教室」が富士大学スポーツセンターを会場として開催されました(主催:花巻ベースボールフェスタ実行委員会)。

本事業は、埼玉西武ライオンズ協力のもと、富士大学出身選手や東北にゆかりのある選手を講師として招き、花巻市内の児童生徒を対象に野球教室を通じてプロ野球選手を身近に感じてもらうとともに競技力の向上に寄与することを目的として開催されたものです。

埼玉西武ライオンズから本学出身の佐藤龍世選手、佐々木健選手の2人(ともに2019年卒業生)と、山野辺翔選手、栗津凱士選手が講師となり、午前は小学生11チーム206名、午後は中学生9校79名に対して、ピッチング指導、内野守備指導、バッティング指導が行われました。



地域との連携

これらの記事は本学ウェブサイトのお知らせ(新着情報)コーナーに掲載しています。

- 花巻市と遠野市の小中学生を対象にパラスポーツ体験交流事業を行いました(主催:花巻市、遠野市 主管:富士大学)
- 一戸町サテライト事業として一戸町で富士大学図書館公開講座を開催し早川光彦図書館長が講演を行いました
- 高大連携として北上翔南高校にて「総合的な探求の時間への大学等サポート事業」を行いました(柳田久弥教授、関上哲教授、遠藤元治教授、高坂紀広准教授、小林麻美講師)
- 花南地区コミュニティ会議の皆さまと「地域住民との懇談会」を開催しました
- 「花巻モノづくりEXPO2023 with ルンビニアートFuture Design Diversity HANAMAKI」(主催:花巻工業クラブ)に出展しました
- 「令和5年度第1回 風会議」に参加しました(主催:花巻商工会議所青年部)
- 富士大学地域連携推進連絡協議会を開催しました(年2回開催)

FUJIジュニアサッカー キャンプを実施しました



2024年1月5日(金)～7日(日)の2泊3日の日程で、県内の小学5年生から中学2年生までを対象に、FUJIジュニアサッカーキャンプを実施しました(主催:FUJIジュニアサッカーキャンプ実行委員会)。

以前より有志で活動していた事業を昨年度から富士大学スポーツ振興アカデミーが共催し2年目になります。小中学生と本学サッカー部員との異世代間交流を通して、双方向での学びや大学生アスリートの地域貢献を目的としています。

参加者は小中学生合計で58名、本学サッカー部部員7名、高校生スタッフ2名、一般スタッフ4名を合わせて総勢71名となりました。八幡平市アリーナまつお、いこいの村岩手の2か所を練習会場とし、テンパーク(国立岩手山青少年交流の家)で宿泊する中で、学生は非常に熱心に小中学生との交流や指導に取り組んでくれました。児童生徒も日本一の大学生プレイヤーとの対話や対戦を大変喜んでくれ、事後アンケートもサッカーに向き合う意識が格段に高まったなどとポジティブな意見が多く見られ、達成感を感じる活動となりました。

スポフェス HANAMAKI 2023開催しました

スポーツで地域を盛り上げたいという目的から半年間をかけて企画準備を進めてきたイベント「スポフェスHANAMAKI2023」(主催:花巻青年会議所、共催:富士大学)が6月10日(土)、富士大学スポーツセンターにて開催されました。

当日は天候にも恵まれ、クロストークショー、ヨガ教室、スポーツ栄養セミナー、メンタルトレーニング、セミナー、親子スポーツ体験教室、キッチンカーなどを行いました。

本学の学生も、準備やスポーツ指導、駐車場管理等で述べ100人以上がボランティアとして活動し、来場した約800人の市民の皆さんと、スポーツを通じた交流を楽しく行うことができました。

クロストークショーはバンサー尾形貴弘氏と柱谷哲二氏(サッカー元日本代表のキャプテン、引退後は東京ヴェルディなどの監督を歴任。現花巻東高校サッカー部テクニカルアドバイザー)のお二人をゲストに行われました。





花巻市の姉妹都市(アメリカ ホットスプリング市)との 学生交流プログラム事業で学生が派遣されました。

学生交流
プログラム
事業について

日米文化教育交流会議の学生交換プログラムにより米国アーカンソー州ホットスプリング市のNPC (ナショナル・パーク・カレッジ) から2019年12月に本大学へアビィ・ハンクスさんが来学し、学生や花巻市民とも交流を深めました。その後、コロナウイルスの影響によって本大学からの派遣が難しい状況となっていました。2023年11月6～15日の10日間にわたり、4年生の石川百杜巴さんを派遣しました。

石川さん 帰国後のコメント

今回、交換留学に推薦していただき本当にありがとうございました。プログラムを実行していくにあたり、多くの方にたくさん支援していただき心から感謝申し上げます。私は、英語が得意ではありませんし、外国に行ったこともなかったので行く前は不安もありましたが、国を超えて人と繋がりたいという期待の方が大きかったです。

様々な経験をした中で印象に残っていることは、ホットスプリング市の方々のフレンドリーで心優しい姿で、私が「上手に英語を話すことができてなくてごめんなさい。」と伝えると、「私も日本語話せないからごめんね。英語は難しいから大丈夫だよ。」と励ましの言葉をかけてくれ、心の温かさを感じました。

英語を聞き取ることができなくて悔しい思いもしました。ロータリークラブの方たちのジョークを交えながらの上手な話しぶりに、聞いている側の笑いが絶えません。しかし、私は何を言っているのかすべてを理解できず、一緒に楽しむことができませんでした。もし、あの場面で理解することができていたら、もっと会話も弾み、楽しい世界が見えたのだと思います。コミュニケーションのためには、話す能力だけではなくしっかり聞き取ることも重要だと感じました。

心に残ったのがアーカンソー大学のフットボール観戦で、日本の大学の試合では考えられないくらいの観客数と盛り上がり方でした。母国や大学への愛の大きさがとても伝わり、スポーツへの考え方や文化が全く違うことを感じてきました。他にも、ビル・クリントン元大統領の政策について博物館で学んだ際に、生涯教育やパブリックスクール等に対する彼の教育への考え方に共感することができ、アメリカは国民の政治への関心が大きいということも感じました。歴史を学ぶことによって、私たちは、これからの未来に対して様々な考えを持つことができたり、行動することができたりすると思います。

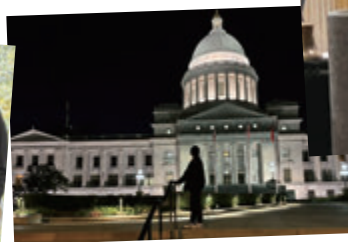
この短期留学を通して、現地の方にとっても親切にしていたので、これからもこの繋がりを大切にしていきたいです。



フットボール観戦



新聞に取材されました



アーカンソー州会議事堂



ホストファミリーと



ロータリークラブでプレゼン

新羅大学へ留学

2024年3月に卒業する経営法学科田中平午さん(東北学院高校出身)が、卒業後に韓国釜山市の新羅大学に編入することが決まりました。本学と新羅大学は2023年5月に学術及び学生交流に関する協定を締結しています。

田中さんは高校1年の時にK-POPにはまり、ドラマを通じて韓国に興味を持ちました。韓国での大学生活に憧れがあったため、新羅大学の話を聞いて、自分がやりたいことをやろうと留学を決意したそうです。人文社会科学部経営学科の3年次に編入し、韓国語、経営学等を学びます。(大学院に入学することもできますが、本人の希望で大学編入となりました)

韓国は3月に新学期がスタートしますので、田中さんは2月に韓国に向かいます。先日岡田秀二学長と龍澤尚孝理事長にご挨拶し、2年間、後悔のないよう充実した留学生活を送りたいと抱負を述べました。岡田学長は、専門の勉強以外に異文化についてもしっかり学んでくるように激励しました。



バングラデシュ人留学生が講演

2023年7月9日(日)、4月に本学に入学したバングラデシュ人留学生カーン・エモデ・シャキルさんが花巻国際交流協会主催の第2回多文化共生サロンにて講演をしました。講演の演題は「多くの可能性を秘めたバングラデシュ」で、バングラデシュの文化について紹介を行い、30名の花巻市民が熱心に聴き入り、質疑応答も活発に行われました。



大学生訪中国として中国を訪問しました。

2023年9月3～9日までの7日間、中国語の授業を履修する3年生の細川愛梨さんと2年生の八重樫柚月さんが、日本中国文化交流協会大学生訪中国のメンバーとして上海市、雲南省、北京市を訪問しました。

招請したのは中国人民対外友好協会と中日友好協会で、日本と中国の大学生の交流や、文化・歴史等関連施設の視察を通じて相互理解を深めることを主な目的としています。

細川さんと八重樫さんにとって印象深かったのは、雲南省の象形文字、ナシ族のダンス、武術、太極拳、カンフー、食文化等の体験で、チャンスがあればまた中国を訪問したいということです。



国際都市推進員
瀧澤・クリスティーン・アリアナ氏

多文化共生社会の まちづくりワークショップ (WS)(全5回)開催しました

2023年5月から10月にかけて、富士大学「多文化共生社会のまちづくりWS」を5回にわたり本学で開催しました。これは、富士大学における長年の異文化交流の歴史を踏まえ、留学生を含む本学学生を中心に、市民や高校生にも呼びかけて地域における「多文化共生のまちづくり」に必要な知見と新たな視点の獲得を目的としたものです(主催: 岩手県南広域振興局・富士大学異文化交流センター、協力: 花巻国際交流協会)。

毎回、花巻市役所や花巻国際交流協会などから多彩なゲストをお招きし、10月に紫陵祭と同時開催された第5回では、集大成として発表会形式で開催し、学生2名もプレゼン発表を行いました。参加者の議論も熱を帯びたものとなり、目的は十分に達成されたことを実感させるものとなりました。



第5回発表会

《就職環境》

新型コロナウイルス感染症は5類に移行し、だいぶ落ち着いてきました。コロナ過で就職環境も変化しました。就職活動プロセスにおいてWEB開催が多くなり、現在も継続されるようになっていきます。学生の交通費、宿泊費及び移動時間などの負担が減り、企業を選ぶ判断の一つになっているようです。また、企業選択も地域の広がりを見せています。

《本学の就職状況》

このような状況の中で、本学の令和4年度卒業生の実就職率(大学院進学者を除いた卒業生に占める就職者数の割合)は97.4%で、昨年同様高い数値となっています。過去3年間の卒業生の主な企業・団体への就職先は、下記のとおりです。

業種別 主な就職先 (令和2年～4年度卒業生)

建設業	学術研究、専門・技術サービス業
一条工務店 キャプティ サムシング 日本ハウスホールディングス 日特建設 ライト工業 麻生フォームクリート 積水ハウス	氏家公認会計士税理士事務所 Rita 税理士法人
製造業	宿泊業、飲食サービス業
ソニー仙台テクノロジーセンター トヨタ自動車東日本 TDK 秋田 三菱重工業 理研計器 JFE プラントエンジニア 東海理化電機製作所 豊田自動織機 小松マテレー	みちのくジャパン 志戸平温泉 花巻温泉 ルートインジャパン ザ・テラスホテルズ
電気・ガス・熱供給・水道業	生活関連サービス業、娯楽業
日本瓦斯 日本テクノ SUN ホールディングス 沖縄電力	ディクアンドギヴ・ニース 太平洋クラブ
情報通信業	医療、福祉
システムベース SOFTDOING 東日本電信電話 日本通信サービス GENOVA NEC プラットフォームズ	岩手県予防医学協会 国立病院機構 秋田県社会福祉事業団 ハナマウイ ベネッセスタイルケア
運輸業・郵便業	サービス業
ANA 新千歳空港 東京地下鉄 サカイ引越センター	総合警備保障 ALSOK 岩手 アウトソーシング J R盛岡鉄道サービス
卸売業・小売業	公務
DCM ホームマック ツルハ ユニバース 吉田産業 三田商店 岩手トヨペット ベルジョイス ホットマン 薬王堂 東北マツダ バイタルネット ヤマザワ ダイユーエイト カワチ薬品 ヤマダ電機 コベルコ建機日本 ウエルシア薬局 エーピーシー・マート ジェコス ローソン IDOM ネクステージ	法務局(刑務) 警視庁 青森県警察本部 岩手県警察本部 宮城県警察本部 秋田県警察本部 福島県警察本部 埼玉県警察本部 神奈川県警察本部 沖縄県警察本部 三沢市役所 花巻市役所 大船渡市役所 宇都宮市役所 葛巻町役場 久慈市広域連合消防本部 気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部 秋田市消防本部 自衛隊
金融業	教育・学習支援業
北日本銀行 東北銀行 七十七銀行 筑邦銀行 盛岡信用金庫 花巻信用金庫 北上信用金庫 水沢信用金庫 杜の都信用金庫 羽後信用金庫 郡山信用金庫	福島県教育委員会 盛岡市教育委員会 北上市教育委員会 会津若松市教育委員会 那須塩原市教育委員会 横浜市教育委員会 石川町教育委員会 盛岡誠校高等学校 カナン学園三愛学舎
不動産業・物品賃貸業	複合サービス事業
アーネストワン オープンハウス ランドネット アンビション DX ホールディングス エラン	青森県農村工業農業協同組合連合会 つながるにきた農業協同組合 花巻農業協同組合 江刺農業協同組合 新みやぎ農業協同組合 全農秋田県本部 山形市農業協同組合 全農福島県本部 ふくしま未来農業協同組合 宇都宮農業協同組合 みやぎ生活協同組合 岩手県森林組合連合会 西和賀町森林組合
	その他
	北海道日本ハムファイターズ 神奈川フューチャードリームス 長野県民球団 松本山雅 FC

《キャリアセンターの取り組み》

キャリアセンターでは、自己分析をもとにキャリアデザインを備えた学生を輩出することを前提に、「社会を正しく生き抜く力」、「学んだ知識を活用する力」及び「社会の一員として共生する力」の育成を目指しています。一年生から段階的にキャリア教育を履修することで、毎年実施している企業からのアンケート調査では、「誠実性」、「協調性」、「責任感」並びに「勤労意欲」等を高く評価いただいています。学生が納得いく就職活動をし、希望する進路の実現を達成できるよう様々なサポートを行っています。希望する進路の実現を目指す為に様々なサポートを行ってまいります。

内定者メッセージ

公務員試験に合格(消防)



小野寺蓮さん 経営法学科4年
岩手県立一戸高校卒

私は小さい時から消防士を志願しており、大学で開講される公務員講座を受講していました。

硬式野球部に所属しておりましたが、授業と部活以外の空いている時間を効率よく使い、コツコツと勉強するように心がけました。公務員試験は非常に広い範囲から出題されるため、先生方から練習問題などを出していただき、自分で解けるようになるまで繰り返し解き続けました。面接の際には、キャリアセンターの方から丁寧に指導をしていただいた結果、第一希望の二戸広域消防から内定をいただきました。

皆さんも自分の夢を実現させるために、目標を決めて努力してください。夢が叶うことを応援しています。

一般企業に内定(銀行)



對島康太郎さん 経営法学科4年
岩手県立久慈高校卒

以前の私は将来働きたい職種が特になかったのですが、富士大学は就職に強い大学と聞いていたので、自分なりにやりたいことを見つけていければと思っていました。そしてそのまま、なかなか目標が定まらないでおりましたが、キャリアセンターで先輩方がどのような仕事をしているか探してみたり、部活動の指導者や、ゼミの先生との面談の機会を増やしていただいたりしているうちに、金融関係の仕事に興味を持ちました。

就職活動に取り掛かるのは遅いほうでしたが、金融関係の仕事に詳しい鈴木智香先生が試験勉強の仕方から面接の練習まで指導してくださいました。専門的なことはゼミの授業の中で学べたので自信を持って面接に臨むことができ、無事に第一希望の株式会社東北銀行から内定をいただくことができました。

富士大学には、頼れる先生方や就職活動を応援して下さるキャリアセンターがあり、願えばいくらかでも自分が成長できる環境があります。在学生の皆さんは、なるべく早い時期から就職活動を視野に入れ、大学の強みも利用して、自己実現を目指して頑張ってください。

本学卒業の
教員に学ぶ会

現在教職についているOB・OGをお迎えし、教員採用試験に向けて、教員としての心構え、職務内容、採用試験対策等お話をさせていただきました。現在活躍している教員からの講義で、これから教員を目指す後輩学生の大きな励みになる会となりました。



おめでとう 教員採用試験合格

令和6年度 公立学校教員採用試験において、経営法学科の坂朋穂さん（青森県立八戸商業高校出身）が岩手県高等学校（商業）に、石川百杜巴さん（秋田県立大館国際情報学院高校出身）が岩手県中学校（保健体育）に合格しました。

ふたりは2022年の情報番組『富士大ウイングス』にも一緒にMCとして出演するなど大学広報活動でも多岐にわたり活躍してくれました。石川さんは岩手大学大学院教育学研究科（教職大学院）への進学が決まっており、修了予定の2026年から教員となる予定です。

—— 教員を目指したきっかけは。

坂：高校在学中、進路を決める際に、先生が私のためにいろいろ研究してくれて、富士大を勧めてくれました。富士大に来てよかったと思っているので感謝しています。そして自分も進路選択に携わりたいと思いました。

石川：小学校の時から、なんとなくですが先生になりたいと思っていました。

—— 石川：中学校保健体育 坂：高等学校商業 を選んだ理由は。

石川：実は体育が嫌いで、球技もチームプレイも苦手でした。私のような苦手な子どもみんな同じように取り組める授業をしたいと思いました。保健の授業も、生きていくために本当に必要なことを学べる科目だと気が付いて、これは中学生の時にちゃんと教えなくてはいけないと思い、中学の保健体育の先生を目指すことにしました。

坂：商業高校で、商業の科目はいずれ社会に出たときに絶対必要となる知識だと思い、それを高校の早い段階からビジネスや会計のことを学べることでとてもいいことだと大学の時に気づき、高校の商業を選びました。大学祭のときの企業訪問にも役立ちました。

—— 教員採用試験に向けてどのように取り組みましたか。

石川：私は1年生から佐々木裕先生・佐々木義孝先生が担当する「ELL※」に参加し、春休み、夏休みも研究室に通って指導していただきました。

坂：僕はELLは2年生からで、その年に商業の鈴木智香先生が富士大に来たので、長期計画でご指導いただきました。

—— 教育実習はどうでしたか。

坂：楽しかったです。2日目から授業を持ちました。教育実習を終えて、教員への志望度がますます高くなりました。

石川：中学の実習は3週間でしたが（高校は2週間）、短く感じました。終わったときには、クラスの特徴などを前もって知っていれば違う教え方ができたのに…などいろいろ考えることがありました。

※（ELL：Program for Educators to be Lifelong Learners
学び続ける教員育成プログラム）



教員 [教授]

石川 啓雅 *Hiromasa Ishikawa*

①岐阜大学大学院連合農学研究科博士課程②前任校は高岡法科大学(富山)③アジア経済論、労働経済論、経済学概論Cほか④酒蔵めぐり⑤みなさんに次の言葉を送ります。「学問には坦々たる大道はありません。ただ、学問のけわしい山路をよじ登る労苦をいとわないものだけが、輝かしい絶頂をきわめる希望をもっています」（マルクス『資本論』仏訳版にたいする序文と後期）



教員 [教授]

吉澤 容一 *Yasukazu Yoshizawa*

①一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程②長年の保険会社勤務後に東洋大学経営学部准教授③経営管理論Ⅰ・Ⅱ、国際経営論、経営史、市場調査論、経済数学基礎、経済数学、オペレーションズ・リサーチ、教養演習④旅行、読書、テニス⑤皆さんとコミュニケーションを取りながら、学ぶことの楽しさを伝えられたらと思っています。



職員 [事務局長]

佐々木 強 *Tsuyoshi Sasaki*

①日本大学経済学部中退②岩手大学学理事・事務局長、国立の機関③事務局長④バイク乗り、温泉めぐり⑤大学らしい自由さと柔軟さを持って社会の状況に応じた変化や新たなことへの挑戦をしていけば、学生が集まる楽しい大学になっていると思います。



職員

黒丸 大樹 *Daiki Kuromaru*

①岩手大学人文社会科学部地域政策過程環境共生プログラム②介護職③入試部④映画鑑賞、釣り、キャンプ⑤入試部に勤務している黒丸です。事務職は初めてですが、皆さんのお役に立てよう努力していきます。よろしくお願ひ致します。



職員

田村 昭太 *Shota Tamura*

①大原簿記専門学校京都校②市職員、営業職③総務・統括部④筋トレ、勉強、新しい趣味を見つけること⑤総務・統括部で勤務しております。学生の皆様とは直接関わる事は少ないですが、何か聞きたいことがあればいつでも総務部に寄ってってください。よろしくお願ひします。



—— どんな先生になりたいですか？

石川：生徒から信頼されるような先生になりたいと思います。体育では、運動の苦手な子ども得意な子ども、同じように活発に授業に参加できるような授業をしたいです。

坂：商業はスタートラインが一緒ですが、最初につまずくとその後が大変なので、苦手意識を持たせたり、つまずかせたりしないようにしたいです。また、進路指導においては、生徒ひとりひとりにサポートを上手にできるような先生になりたいです。

—— 富士大学での学びや学生生活はどうでしたか。

坂：経営法学科は1年から簿記と経営学概論が必修で、1年生からいいスタートを切れるカリキュラムです。2年生以降はより発展しており、選択した経営・商学コースはビジネス、会計など商業に関する知識を高めることができました。

石川：私は親が会社経営をしており、経営学も教職科目も司書科目も履修できる富士大学を選びました。自分がなんの専攻なのかわからなくなるくらい幅広い分野が学べました。将来の進路が決まっていなかった高校生でも、希望の進路を見つけやすい大学だと思います。教職科目で1年生の時に履修した科目が当時は難しく、今だったらもっとわかると思うので、もう一度受けたいなと思ったりします。

坂：僕は学友会に所属し、3年の時には紫陵祭実行委員長として大学祭を運営しました。当時は大変でしたが、職員のサポートもあり、そこでできた友人といういろいろな作り上げる経験を通して、協調性が育まれました。

—— 教員を目指してがんばっている後輩たちへメッセージをお願いします。

坂：大事な時期に体調を崩すと本当に大変なので体調管理が重要です。

石川：富士大学の先生方は、学生の希望に対して本当に協力的なので、なんだかそれが当たり前になってしまうかもしれませんが、感謝の気持ちを常に持ち続けてほしいです。

二人：教職を目指すなら、できるだけ早いうちからとりかかり、努力を惜しまないでください。

—— 卒業にあたってメッセージをお願いします。

二人：4年間サポートいただいた教職員の先生方に御礼申し上げます。私たちは岩手県出身ではありませんが、岩手で教員になることを決めました。子どもの未来のために尽力いたしますので見守ってくださいますようお願いいたします。

2023年 新任教職員の紹介

- ①最終出身学校
- ②主な経歴
- ③担当
- ④趣味
- ⑤ひとこと

教員 [助教]

佐々木 康允 *Yasumasa Sasaki*

①順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程②非常勤講師（保健体育）：木更津高専・京華中学高等学校・あすなろ保育園など③運動生理学、トレーニング科学Ⅰ・Ⅱ、学校保健、柔道A、スポーツⅠ・Ⅲ、スキー④旅行、映画鑑賞⑤高校までと比べ、大学生は自由です。何でも好きな事を思うままにできます。しかし、その言動のすべてに責任が伴うということをお忘れなく。自分の言動は、自分の人生に関わってきます。教員として、または少し年上の先輩として、成長を目指す行動には惜しみなく協力するので、ぜひ気軽に話しに来てください。



職員

木村 博 *Hiroshi Kimura*

①私立花巻商業高等学校②花巻市消防本部（在職中は主に救急救助を担当し、消防学校教官経験があります。退職後、東北道サービスエリア点検業務をしました。）③総務・統括部 スポーツセンター④スキー、ゴルフ⑤24歳から富士大学スキー実習を担当し、現在、日赤救急指導員委員長、県市防災アドバイザーとして、市町村地域、中学校で講習しており、今後さらに学生の安全のために努めたいと思います。



() の数字は学年

剣道部

- 第71回東北学生剣道優勝大会
5月27日～28日(宮城：塩釜ガス体育館)
男子 個人戦 4回戦進出 本間 頼
- 若手県下剣道大会
7月29日～30日(岩手県営武道館)
女子 団体戦 準優勝
- 男子第71回女子49回東北学生剣道優勝大会
9月10日(宮城：塩釜ガス体育館)
男子 団体戦 第3位 全日本大会出場決定
女子 団体戦 第2位
- 第71回全日本学生剣道優勝大会
11月4日～6日(大阪市中央体育館)
一回戦 対 東洋大学 0－3
- 第2回東北剣道新人大会
12月2日～3日(宮城：名取市民体育館)
男子 団体戦 ベスト16

硬式野球部

- 北東北大学野球春季リーグ戦 1部リーグ
4月15日～5月20日(花巻球場他)
- 10勝0敗 優勝
＜個人賞＞
最優秀選手賞 中岡大河(4) 初
首位打者賞 佐々木大輔(3) 初
最多本塁打王 佐々木大輔(3) 初
最多打点王 麦谷祐介(3) 初
最多盗塁王 麦谷祐介(3) 2回目
＜ベストナイン＞
【三塁手】 山澤太陽(3) 初
【遊撃手】 佐々木大輔(3) 初
【外野手】 赤瀬健心(1) 初
- 第72回全日本大学野球選手権大会
6月5日～11日(東京ドーム他)
- 1回戦 対 創価大学 5－2
2回戦 対 中部大学 4－1
準々決勝 対 大阪商業大学 7－1
準決勝 対 青山学院大学 2－5
ベスト4
- 2022年北東北大学野球新人大会
6月24日・7月2日(青森県営野球球場他)
- 準決勝 対 八戸学院大学 6－0
決勝 対 青森大学 2－0
優勝
- 北東北大学野球秋季リーグ戦 1部リーグ
8月19日～9月17日(青森県営球場他)
- 7勝3敗 第2位
＜個人賞＞
優秀選手賞 渡邊悠人(3) 初
首位打者賞 渡邊悠人(3) 初
最多本塁打王 佐々木大輔(3) 2回目
最多打点王 麦谷祐介(3) 2回目
最優秀防衛率賞 佐藤柳之介(3) 初
最多盗塁王 麦谷祐介(3) 2回目
＜ベストナイン＞
【捕手】 渡邊悠人(3) 初
【外野手】 麦谷祐介(3) 3回目
- 第15回東北地区大学野球代表決定戦
10月21日～22日(青森県：弘前市運動公園野球場)
- 準決勝 対 東北福祉大学 3－1
決勝 対 八戸学院大学(1戦目) 7－2
対 八戸学院大学(2戦目) 2－1
優勝
- 第54回明治神宮野球大会
11月15日～20日(東京：明治神宮野球球場)
- 1回戦 対 上武大学 1－0
準決勝 対 青山学院大学 3－4
ベスト4

ゴルフ部

- 第50回若手県アマチュアゴルフ選手権大会
5月11日～12日(若手GC新山コース)
- 優勝 渡邊優人(4)
- 24回若手県民女子ゴルフ大会
6月5日(若手：栗駒ゴルフ倶楽部)
- 優勝 齊藤桃子(2)
- 関東女子大学秋季Eブロック対抗戦
5月11日～12日(若手GC新山コース)
- 第4位
- 第61回会長杯争奪関東学生ゴルフ選手権大会
11月20日～22日(千葉：我孫子ゴルフ倶楽部)
- 第13位タイ 渡邊優人(4)

サッカー部

学生チーム：富士大学

- 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント
東北地区予選
6月17日～7月2日(山形県総合運動公園他)
- 準決勝 対 八戸学院大学 4－3
決勝 対 仙台大学 2－4
準優勝 全日本大会出場決定

- 第47回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント
9月1日～10日(ユアテックスタジアム仙台他)
- 1回戦 対 周南公立大学 3－2
2回戦 対 日本経済大学 3－2
準々決勝 対 中京大学 0(PK7)－0(PK6)
準決勝 対 法政大学 2(PK4)－2(PK3)
決勝 対 関西学院大学 2－1
初優勝(詳細はP2)
- 東北地区大学サッカーリーグ1部
4月29日～11月4日全14節(花巻スポーツキャンプむら他)
- 14戦9勝3敗2分 第2位
- 第72回全日本大学サッカー選手権大会
12月7日(千葉：プリオベッカ浦安競技場)
- 1回戦 対 広島大学 1－4
- インディペンデンスリーグ東北
5月13日～10月15日全10節(富士大学人工芝サッカー場他)
- 【富士大学B】 10戦8勝1敗1分 優勝
【富士大学U-22】 10戦3勝6敗3分 第4位
- 社会人チーム：富士クラブ2003
- 東北社会人サッカーリーグ1部
4月30日～10月15日全18節(富士大学サッカー場他)
- 18戦9勝8敗1分 第5位

柔道部

- 東北学生柔道優勝大会 5月20日～21日(宮城県武道館)
- 男子 団体戦 第3位
女子 団体戦 第3位
全日本大会出場決定
- 2023年度全日本学生柔道優勝大会
6月23日～25日(日本武道館)
- 男子 1回戦 対 広島国際大学 4－1
2回戦 対 熊本学園大学 1－3
女子 1回戦 対 大阪体育大学 1－4
- 2023東北学生体重別選手権大会
8月27日～28日(秋田県立武道館)
- 男子100kg級 ディビリアギルバート(4) 優勝
男子100kg級 和田陽寛(3) 第3位
男子90kg級 三浦瑠唯(2) 第3位
全日本大会出場決定
- 全国学生柔道体重別選手権大会
9月29日～10月1日(日本武道館)
- 男子100kg級 ディビリアギルバート(4) 出場
男子100kg級 和田陽寛(3) 出場
男子90kg級 三浦瑠唯(2) 出場

女子ソフトボール部

- 全日本大学女子ソフトボール選手権大会
北海道・東北地区予選
5月20日～21日(青森市スポーツ広場)
- 予選リーグ 対 仙台大学 5－1
対 東北福祉大学 2－7
順位決定戦 対 東北福祉大学 5－1
得失点差により準優勝
- 第38回東日本大学ソフトボール選手権大会
7月7日～10日(山梨県：長坂総合スポーツ公園)
- 1回戦 対 白鷲大学 7－0
2回戦 対 城西国際大学 11－4
準々決勝 対 東京女子体育大学 0－1
- 第75回東北総合ソフトボール選手権大会
7月22日～23日(秋田県：由利本荘市ソフトボール場)
- 準決勝 対 仙台大学 10－0
決勝 対 東北福祉大学 6－3
優勝 全国大会出場決定
- 第58回全日本大学女子ソフトボール選手権大会
8月25日～27日(愛知県安城市)
- 1回戦 対 環太平洋大学 0－2
- 第75回全日本総合女子ソフトボール選手権大会
9月16日～19日(佐賀：太良町B&G海洋センター運動広場)
- 1回戦 対 豊田自動織機 0－4

卓球部

- 東北学生卓球連盟春季リーグ戦
5月20日～21日(宮城：塩釜ガス体育館)
- 男子1部 対 八戸工業大学 2－4
対 東北学院大学二部 4－0
対 東北福祉大学 0－4
対 東日本国際大学 1－4
対 東北学院大学 1－4
1勝4敗
女子2部 対 宮城教育大学 3－0
対 福島大学 3－0
対 東北大学 2－3
＜敢闘賞＞ 寺田美樹(1)
- 2023東北学生卓球選手権大会
6月16日～18日(福島：まるさん・あったまるアリーナ)
- 男子シングルス 中嶋楓希(3) 第3位
- 東北学生卓球連盟秋季リーグ戦
8月28日～30日(花巻市総合体育館)
- 男子1部 対 八戸工業大学 4－3
対 東北福祉大学 1－4
対 東日本国際大学 1－4
対 東北学院大学 1－4
対 岩手大学 4－3
第4位
女子1部 対 東日本国際大学 1－3
対 東北学院大学 2－3
対 東北大学 3－2
順位決定戦 対 弘前大学 2－3
男子シングルス 中嶋楓希(3) 全日本出場
女子シングルス 柳引一葉(3) 全日本出場
寺田美樹(1) 全日本出場

- 第89回全日本大学総合卓球選手権大会
10月25日～28日(石川：いしかわ総合スポーツセンター)
- 男子シングルス 中嶋楓希(3)
対 佐藤(筑波大学) 0－3
女子シングルス 柳引一葉(3)
1回戦 対 渋谷(九州大学) 3－1
2回戦 対 高村(福岡大学) 2－3
寺田美樹(1)
1回戦 対 永野(愛知工業大学) 0－3

バスケットボール部

- 第44回北奥羽春季大学バスケットボール選手権大会
5月27日～28日(秋田：三種町琴岡総合体育館)
- 男子 優勝
最優秀選手賞 小成永遠(4)
優秀選手賞 炭釜 馨(4)
優秀選手賞 岸 龍聖(4)
新人賞 越善玲稀(1)
女子 準優勝
敢闘賞 斎藤亜海(3)
優秀選手賞 西沢 鼓(3)
- 第1回全日本大学バスケットボール新人大会
7月10日～16日(東京：代々木第二体育館他)
- 男子予選リーグ 対 天理大学 61－98
対 中央大学 65－105
対 愛媛大学 88－82
- 第78回若手県男女総合バスケットボール選手権大会
7月8日～9日(若手：宮古市民総合体育館)
- 男子決勝 対 ST-IWATE 84－93
準優勝
優秀選手賞 小成永遠(4)
女子決勝 対 一関修紅高校 80－72
優勝 全日本大会出場決定
優秀選手賞 阿部彩華(1)
優秀選手賞 中村南美(1)
- 第90回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会
9月16日(若手：一関総合体育館)
- 女子1回戦 対 白鷲大学 51－144
- 第24回東北大学バスケットボールリーグ戦
9月1日～10月9日(花巻総合体育館他)
- 男子 5勝3敗 準優勝 全日本大会出場決定
敢闘賞 小成永遠(4)
優秀選手賞 齋藤夏輝(3)
得点王 小成永遠(4)
3P王 小成永遠(4)
アシスト王 小成永遠(4)
女子 2勝6敗 第4位
優秀選手賞 川村秋桜花(3)
アシスト王 川村秋桜花(3)
- 第75回全日本大学バスケットボール選手権大会
12月2日～10日(東京：大田区総合体育館)
- 男子グループリーグ 対 環太平洋大学 75－87
対 浜松学院大学 86－108
- 第47回東北大学バスケットボール新人大会
12月16日～17日(宮城：東北学院大学体育館)
- 男子 優勝
最優秀選手賞 増尾 海(2)
優秀選手賞 李 同鎬(2)
優秀選手賞 越善玲稀(1)
新人王 笹森陸生(1)

バドミントン部

- 東北学生バドミントン選手権大会
5月21日～27日(仙台市宮城野区体育館)
- 男子2部リーグ 第2位
男子シングルス ベスト32 阿部永遠(4)
男子ダブルス ベスト16 荒河慶哉(4)・大越快晴(2)
- 第66回東日本大学バドミントン選手権
9月4日～8日(仙台市カメイアリーナ)
- 男子シングルス 3回戦進出 石田直也(4)
滝澤 拓(3)
- 東北学生バドミントン秋季リーグ戦
11月6日～9日(宮城野区体育館)
- Aリーグ戦Bブロック 対 秋田大学 3－0
対 福島大学 3－0
対 東北大学 3－0
I部-II部入替戦 対 仙台大学 3－0
- 東北新入学生バドミントン選手権大会
11月6日～9日(宮城野区体育館)
- 男子団体戦 ベスト8
男子シングルス 大越快晴(2) ベスト8

男子バレーボール部

- 東北バレーボール大学リーグ戦
4月22～5月21日(盛岡大学体育館他)
- 男子2部北リーグ 第5位
- 第62回東北バレーボール大学秋季リーグ戦
9月17日～10月14日(盛岡大学体育館他)
- 男子2部北リーグ 第6位
- ハンドボール部
東北学生ハンドボール春季リーグ戦
5月9日～14日(秋田：湯沢市総合体育館)
- 男子1部リーグ 対 東北学院大学 35－25
対 青森大学 32－25
対 秋田大学 32－22
対 仙台大学 23－26
対 東北福祉大学 27－31
準優勝
女子Aリーグ 対 東北福祉大学 24－26
対 仙台大学 23－14
対 秋田大学 43－15
準優勝

■東日本学生ハンドボール選手権大会

8月11日～13日(福井:北陸電力福井体育館フレア)
男子 対 札幌国際大学 22-34
対 信州大学 37-16
対 東海大学 24-46
Cグループ3位
女子 対 金沢星稜大学 33-15
対 札幌国際大学 28-16
対 順天堂大学 28-25
Bグループ優勝 インカレ出場決定
特別賞 阿部友里菜(4)

■東北学生ハンドボール秋季リーグ戦

9月16日～10月1日(宮城野区体育館他)
男子1部リーグ 対 仙台大学 30-36
対 秋田大学 39-40
対 東北福祉大学 29-28
対 東北学院大学 46-27
対 東北大学 37-21
第4位
女子Aリーグ 対 東北福祉大学 28-24
対 仙台大学 37-24
対 秋田大学 41-10
対 山形・福島大学 36-7
優勝

■第75回日本ハンドボール選手権大会東北予選

10月21日～22日(福島:あづま総合体育館)
女子 準決勝 対 聖和学園高校 26-21
決勝 対 不來方高校 23-19
優勝 全日本大会出場決定

■第59回全日本学生ハンドボール選手権大会

11月4日～8日(函館アリーナ)
女子 1回戦 対 同志社大学 35-32
2回戦 対 環太平洋大学 23-31

■第75回日本ハンドボール選手権大会

12月24日～28日(花巻市総合体育館)
女子 1回戦 対 北海道倶楽部 31-24
2回戦 対 北國銀行 14-46

陸上競技部

■東北学生春季陸上競技会

4月8日(弘進ゴムアスリートパーク仙台)
女子 棒高跳 小西未樹(大学院1) 優勝

■東北学生陸上競技選手権

6月9日～11日(岩手:北上総合運動公園陸上競技場)
男子 走高跳 伊藤正樹(4) 優勝 全日本大会出場決定

■北日本学生陸上競技選手権

8月10日～12日(弘進ゴムアスリートパーク仙台)
女子 棒高跳 小西未樹(大学院1) 優勝 全日本大会出場決定

■第92回日本学生陸上競技対校選手権大会

9月14日～17日(埼玉:熊谷スポーツ文化公園陸上競技場)
男子 走高跳 伊藤正樹(4) 出場
女子 棒高跳 小西未樹(大学院1) 出場

全国大会に出場しました

卓球部

第89回全日本大学
総合卓球選手権大会

柔道部

全日本学生柔道優勝大会
全国学生柔道体重別
選手権大会

硬式野球部

第72回全日本大学
野球選手権大会
第54回明治神宮
野球大会

女子ソフトボール部

第58回全日本大学
女子ソフトボール選手権大会
第75回全日本総合女子
ソフトボール選手権大会

女子ハンドボール部

第59回全日本学生
ハンドボール選手権大会
第75回日本ハンドボール
選手権大会

第71回全日本学生
剣道優勝大会

剣道部

バスケットボール部

男子 第1回全日本大学
バスケットボール
新人大会
第75回全日本大学
バスケットボール
選手権大会
女子 第90回皇后杯全日本
バスケットボール
選手権大会

陸上競技部

第92回日本学生
陸上競技対校選手権大会

実業団で競技を続ける選手

2023年3月に卒業した硬式野球部8名、男子バスケットボール部2名、女子ソフトボール部2名の選手が実業団へ入団しました。卒業後も競技を続ける選手たちに、引き続き応援のほど宜しくお願い致します。

硬式野球部



原田 翔太
神奈川:平塚学園高校卒
【七十七銀行】
(宮城)



古川原 将真
宮城:東北高校卒
【トヨタ自動車東日本】
(岩手)



佐々木 俊
岩手:高田高校卒
【JR盛岡】
(岩手)



須田 優真
福島:聖光学院高校卒
【日本製鉄かずさマジック】
(千葉)



野原 健吾
岡山:岡山学芸館高校卒
【エナジックインターナショナル】
(沖縄)



長野 匠馬
福岡:折尾愛真高校卒
【久留米 REX パワーズ】
(福岡)



山城 裕飛
沖縄:知念高校卒
【沖縄電力】
(沖縄)



青嶋 秀
宮城:聖和学園高校卒
【杜の都信用金庫】
(宮城)

男子

バスケットボール部



奥 大和
岩手:一関工業高校卒
【菱企業】
(東京)



佐藤 裕斗
山形:羽黒高校卒
【菱企業】
(東京)

女子

ソフトボール部



井上 あやめ
埼玉:花咲徳栄高校卒
【豊田自動織機シャイニングベガ】
(愛知)



木村 友奏
千葉:千葉経済大附属高校卒
【NECプラットフォームズレッドファルコンズ】
(静岡)

OPEN CAMPUS オープンキャンパス 2024

複数回開催します！

2024年はオープンキャンパスの回数を増やします。
日程、内容は決まり次第ウェブにてお伝えします。
みなさんのご参加をお待ちしております！



全国
高校生
童話大賞

全国高校生童話大賞

富士大学と花巻市、花巻市教育委員会が主催する第22回全国高校生童話大賞は、2023年6月から応募を受け付け、全国の133校から564作品の応募がありました。

表彰式を12月9日に花巻駅前なはんプラザにて開催しました。銀賞の榊間さん(写真右)は当日ご都合がつかず欠席となりましたが、12月23日に花巻を訪れてくれたので、宮沢賢治記念館にて選考委員の牛崎敏哉学芸員と菊池豊実行委員会事務局長から、楯と副賞の図書カードをお渡しし表彰しました。



金賞 「渡り鳥のルチア」 湊 むつみさん
奈良県立郡山高等学校 3年

銀賞 「青い氷の結晶」 十川 理世さん
千葉県市川高等学校 1年

銀賞 「キャンパスの中の貴方」 榊間 茜里さん
東京都学院大学附属高等学校 2年

銀賞 「雨夜の星」 谷 まゆみさん
高知県立山田高等学校 1年

FUJI UNIVERSITY



富士大学公式
ウェブサイト



富士大学広報
YouTubeチャンネル



富士大学事務局
X (旧Twitter)



富士大学広報
Instagram



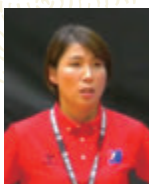
富士大学
公式LINEアカウント
高校生向け



女子ハンドボール部監督が U-18 日本代表監督に就任

— アジア大会初優勝に輝く —
チャンソビ
張素姫 監督

2004年アテネオリンピック韓国代表(銀メダリスト)。
盛岡市在住。
2017年から富士大学女子ハンドボール部監督。



2023年7月15日～24日、第10回女子ユースアジア選手権(U-18)がインドで開催されました。本学女子ハンドボール部監督である張素姫監督率いる日本代表チームは、全国から25名の代表選手が参加して5月から東京で3回の強化合宿やオンライン講習を行い大会に臨みました。大会においては、チーム一丸となって戦い、順調に決勝トーナメントに進出。7月22日の準決勝では中国に34-24、24日の決勝では韓国に24-23で勝利し、初優勝に輝きました。

2024年7～8月に行われる女子ユース世界選手権のアジア第1代表(上位4チーム)として出場権を獲得しました。

